

第2期 ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン

ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプランとは？

「第2期東広島市子ども・子育て支援事業計画」において、重点施策の一つとして位置付けている「乳幼児期における教育・保育の質の向上」のために、目指す乳幼児の姿や施策の方向性を関係者が共有し、より一層の質の向上を図るために策定したものです。

第2期東広島市子ども・子育て支援事業計画 基本理念 つながる つなげる 育ちあいのまちづくり

○アクションプランの位置付け

「第五次東広島市総合計画」に基づく個別計画である「東広島市こども計画」の下位計画

○計画期間 令和7年度～令和11年度（5年間）

1 目指す乳幼児の姿

とことんあそび 豊かに育つ こころとからだ

子どもを取り巻くすべての人たちの連帯により、子どもの健やかな成長を支え、共に育つ「つながる つなげる 育ちあいのまちづくり」の基本理念を基に、目指す乳幼児の姿を定めました。

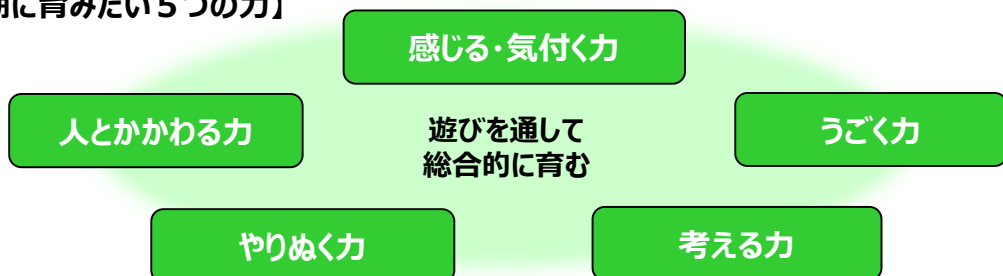
人間形成の基盤となる乳幼児期に、子どもが興味・関心を持ち、とことん遊びこむことで、「身の周りのことから感じ取る力」や「人とかかわる力」、「困難を乗り越える力」、「自分の体の身のこなし方」、「考える力」などの力が育まれます。これがいわゆる「乳幼児期に育みたい5つの力」※です。

目まぐるしく変化する現代社会を生き抜く力は、遊びを通してこそ培われるのです。まさに「遊び」は「学び」です。

本市ではこどもたちの遊びや活動の深まりを支えながら、育ちを見守ります。



【乳幼児期に育みたい5つの力】



※「遊び 学び 育つひろしまっ子！」推進プラン(平成29年2月 広島県、広島県教育委員会)

2 プランの基本目標

基本目標

1

ともに育つ地域をつくる（関係者との理解の共有・連携の促進）

教育・保育内容の見える化を進め、関係者がこども観を共有するとともに、核となる人材の育成により、連携・連帯を促進します。また、保護者や地域住民とのつながりの中で、地域資源を活用しながら、一人一人が生きがいと役割を持って参画する地域共生による子育て支援を推進するとともに、保護者の子育て力の向上を図ります。

基本目標

2

みんなで育つ（施設における教育・保育実践の充実）

日々の教育・保育実践の充実を図るため、外部アドバイザーの助言等を活用し、園内での遊びを通じて、こどもの豊かなこころとからだを育めるよう、保育室や園庭等の環境づくりに取り組みます。

基本目標

3

学び合う風土をつくる（職員間の相互理解・協働）

園内研修の充実等により職員同士が保育観・こども観を共有し、互いに学び合う関係性を構築するため、施設長のマネジメント力強化等に取り組み、学び合う組織風土を醸成します。

基本目標

4

個をみがく（職員の資質・専門性の向上）

キャリアアップ研修機会の拡大や往還型による研修の実施等、実践に結び付くよう研修の内容を充実させることにより、職員個々のスキルアップを図り、教育・保育者としての資質・専門性を向上させ、情報発信できるように取り組みます。



3 目標達成に向けた主な取組み（1）

取組み	内容	基本目標との関連			
		ともに育つ地域をつくる	みんなで育つ	学び合う風土をつくる	個をみがく
<u>5つの力を育む魅力ある保育環境づくり</u>	○外部アドバイザーの助言等を活用し、保育室や園庭等のよりよい環境づくりに取り組む施設に対して支援を行います。 ○保護者や地域の協力も得ながら、安心・安全・豊かな保育環境づくりを進めることにより、地域共生による子育て支援を促進するとともに、保護者の子育て力の向上を図ります。 ○保育環境づくりを通じて、職員間のコミュニケーションを促すとともに、こどもを主体とした保育・教育を語り合う気運を醸成します。	○	○	○	
<u>自然保育の推進</u>	○園内だけではなく、地域全体を教育・保育の実践の場として捉え、地域との協働も視野に入れ、本市ならではの豊かな自然を活用した保育を推進します。 ○広島県の「ひろしま自然保育認証制度」も活用し、自然保育の取組みが広がるよう啓発を行います。	○	○		
<u>施設間交流の推進</u>	○公開保育を通して、施設での教育・保育実践のレベルアップを図ります。 ○保育参観を通して、保育施設間の交流を促進し、好事例の横展開を図ります。	○	○	○	
<u>相談支援体制の充実</u>	○保育ソーシャルワーカー等を派遣し、特別な支援が必要な児童やその保護者への対応について、保育士等からの相談に応じます。	○			
<u>保育コーディネーター※の育成・連携</u>	○専門機関や外部との連携において重要な役割を果たす保育コーディネーターを育成するとともに、保育コーディネーター同士のつながり・連携を促進します。 ○園内での学び合いの風土づくりや職員間の連携など、保育コーディネーターの役割を明確化し、活躍の機会を増やします。	○		○	○

※保育コーディネーター：教育・保育の場、子育て支援の場、地域において、就学前のこどもや家庭が抱える課題に的確に対応し、解決に向けた取組みを行う中心的な役割を担う人材であり、東広島市独自の認定制度です。



3 目標達成に向けた主な取組み（2）

取組み	内容	基本目標との関連			
		ともに育つ地域をつくる	みんなで育つ	学び合う風土をつくる	個をみがく
ニーズに応じた研修の充実	○キャリアアップ研修の充実により、専門性の向上と、職員の処遇改善につなげます。 ○各施設が外部から講師を招いて行う施設研修を推進します。 ○大学等研究機関の専門家がアドバイザーとして施設を巡回し、指導・助言を行う体制を構築します。				○
施設長研修	○対話による語り合いによってお互いを高める組織文化や、マネジメントの重要性について、施設長研修を実施し、組織としての力を高めていきます。 ○施設長同士が情報共有などの交流が持てる場を確保します。			○	○
幼保小の連携	○保育所等と小学校の職員が相互に施設を訪問し、公開保育・授業への相互参加や、合同研修等を通して意見交換や連携を促進します。 ○合同研究を通して、こどもの発達と学びの連続性について共通認識を持ち、円滑な接続を図ります。	○			○
積極的な情報発信	○各施設が自らの「よさ」を発見し、ホームページ等を通じて積極的に情報発信していきます。 ○情報発信を行うことにより、保護者や地域との繋がりを強化するとともに、保護者の子育て力向上や、地域共生による子育て支援をします。	○	○	○	○

4 アクションプランの推進にあたって

- 保育士の確保や保育士の負担軽減にも同時に取り組み、保育現場の体制を整えます。
- 保育専門領域の人員体制の充実を図ります。

5 取組内容の評価

- 保育者及び保護者を対象として、乳幼児の育ちに関する評価アンケートを毎年実施し、取組内容の成果を検証します。

